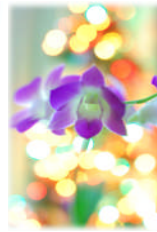


学校だより



アビラ



第19号
(通算182号)

平成 28 (2016) 年 6 月 16 日
在ベネズエラ日本国大使館
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

創立41年目の運動会の予行練習実施 ～3人でも頑張る！大好きな運動会だから…～
こんなドラマのような、こんなあつい運動会が地球の反対側で行われているのです。



■■■■ **一時帰国している友だちの分まで、ひとりが二人分、私たちは頑張ります！** ■■■■

6月15日（水）は創立41年目の運動会の予行練習を実施しました。入場行進から閉会式まで、約3時間に及ぶ本番さながらの練習でした。まるで児童3人の本当の運動会のようなものでした。3人の児童が真剣に友だちの分まで頑張る予行練習に、胸が熱くなりました。予行練習の最中も従業員は準備作業に汗を流していました。運動会はみんなで創り上げるものです。みんなが主役です。みんなが主体者です。みんなが汗と涙を流すのです。ベネズエラの大地よ！空よ！風よ！記憶せよ！この素晴らしき運動会の物語を！

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…（その111）

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 6

今までカラカス日本人学校には多くのお客様が来校されています。日本代表ソフトボールチーム、日本代表バレーボールチーム、プロ野球選手、柔道選手、音楽家、漫画家…。来校された方々の足跡は、玄関の飾り棚に色紙や写真、サインボールとして残されています。今回、和太鼓でお世話になっている松村真澄さんとのつながりでも、ピースボートの乗客の方々と交流会が実現することとなりました。ピースボートとは、世界一周をはじめ、国際交流の船旅をコーディネートする NGO で、多くのボランティアスタッフと共に世界と出会い、地球を体感するクルーズや国際協力活動を展開する、国連特別協議資格を持つ NGO のことです。日本全国各地から集められた老若男女の乗客の方々がベネズエラに寄港し、20近くのグループに分かれて交流活動や見学研修、ボランティア活動をされます。教育や学校に興味関心を持つ方々が、今回日本人学校を訪ねてください。日時は、6月22日（水）4～6校時です。（次の23日と曜日変更を行い、22日が14時50分下校、23日が13時30分下校になります）交流内容は、「和太鼓発表」と「交流運動会」です。日本に一時帰国し18日の運動会に参加できない3人の児童に少しでも運動会気分を味わってほしくて、また、スポーツによる交流が短い時間でも親交が深まると考え、計画しました。和太鼓発表や玉入れ、綱引き、大玉転がし、日本の踊り・ラテンの踊りなど、運動会の種目を通して、交流したいと考えています。カラカス日本人学校の交流の歴史に新しいページを刻むことになると思っています。

